

震災から五年 一緒に前を向いて

～東日本大震災5周年 岩沼市追悼式～

3月11日、市民会館で「東日本大震災5周年 岩沼市追悼式」が執り行われ、ご遺族をはじめとする約900人が参列しました。

菊地市長は「復興の完遂に向けた強い決意を、改めてご参列の皆さまと共有させていただくとともに、これまでのご支援に応えることができるよう、ふるさと岩沼の発展に全力を尽くします」と式辞を述べました。

政府主催の追悼式の模様も会場で放映され、東日本大震災発生の14時46分に合わせ、黙とうをささげました。

また、被災者の代表として千葉桃華さん（玉浦中学校3年）



▲遺族や来賓の方々が献花をする様子



▲14時46分に千年希望の丘慰霊碑前でも黙祷する人たちがいました



▲被災者代表の千葉さん

は「岩沼がさらに明るいまちになるよう、この5年間で得た優しさと培ってきたたくましさを中心に留めて皆さんと一緒に前を向いて歩いていきましょう」と話しました。

最後に、祭壇前に設けられた献花台に参列者が献花し、犠牲となられた方々のご冥福を祈りました。



▲壇上で小野寺校長から卒業証書を受け取る卒業生（岩中）

3月12日、市内の4中学校で卒業式が行われました。このうち、第69回目となる岩沼中学校では137人の卒業生が、新たな希望や感謝の気持ちを胸に学び舎を巣立ちました。

また、同月18日、市内の4小学校で卒業式が行われました。このうち、岩沼南小学校では119人の卒業生が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。富田校長は、卒業生に「自分を支えてくれている家族への感謝の気持ちを忘れないこと。困難なことに遭遇しても諦めず幸せをつかむまで努力を重ねる、もう一步の努力を続けること」とエールを送りました。

それぞれの思いを胸に

～市内小中学校で卒業式～

▼式では卒業生一人ひとりが門出のことばを話し、全員で別れの歌を歌いました（南小）



▶それぞれの思いを胸に退場しました（岩中）

指定廃棄物の現状を視察

丸川珠代環境大臣が来岩

3月5日、丸川珠代環境大臣が、玉崎浄水場と千年希望の丘を視察し、岩沼市の復興状況を確認しました。

玉崎浄水場では、村井県知事と菊地市長とともに指定廃棄物が一時保管されている状況を確認し、菊地市長からの「適切な処理をお願いしたい」という要望に対して、丸川大臣は「一日でも早く指定廃棄物の処理が進むよう、国の責任をしっかりと果たしていきたい」と回答しました。

千年希望の丘では、慰霊碑前で献花を行った後、丘に登り復興の様子を視察しました。



◀▲環境大臣として初めて、指定廃棄物の一時保管場所を視察した丸川大臣

玉浦西に京都の

シダレザクラを植樹

2月27日、玉浦西地区のまごころ公園で、県内の津波到達地付近に桜を植える「はなはなプロジェクト」の一環として、シダレザクラの植樹式が開催されました。この桜は、震災の記憶を伝承することを目的とされ、京都市の造園家で桜守の佐野藤右衛門氏の支援を受けて植樹されました。

玉浦西まちづくり住民協議会の中川勝義会長は「4股に分かれている木を見て、私たちの玉浦西の新しい集落の数と同じだとうれしく思いました。桜が咲いたらみんなで集まり楽しく語り合い」と話しました。



▲植樹したシダレザクラを背景に、佐野氏とともに記念撮影。式典の後には、玉浦西地区の住民の皆さんによる餅の振る舞いが行われました

常磐道・南相馬鹿島SAで観光

PRイベントを開催

3月5日、常磐自動車道の南相馬鹿島サービスエリアで観光PRイベントを開催しました。

このイベントは岩沼市と亘理町が連携して実施している「あぶくまりバーサイドにぎわい創出事業」の一環として行われました。

当日は好天にも恵まれ、配布用に500セット用意した両自治体の観光パンフレットやお菓子・お土産などの名産品が、あつという間になくなり、好評の内にイベントを終えました。



◀岩沼市と亘理町の職員が南相馬鹿島SAで観光パンフレットを配布する様子

行政区の設置・分割のお知らせ

4月1日から次のとおり行政区が変わります。

①玉浦西地区および三軒茶屋西住宅に5つの行政区を設置します。

- 玉浦西一丁目
- 玉浦西二丁目
- 玉浦西三丁目西
- 玉浦西三丁目東
- 玉浦西四丁目

②林二行政区を3つの行政区に分割します。

- 林一
- 恵み野西
- 恵み野東

問／総務課(☎内線517)

